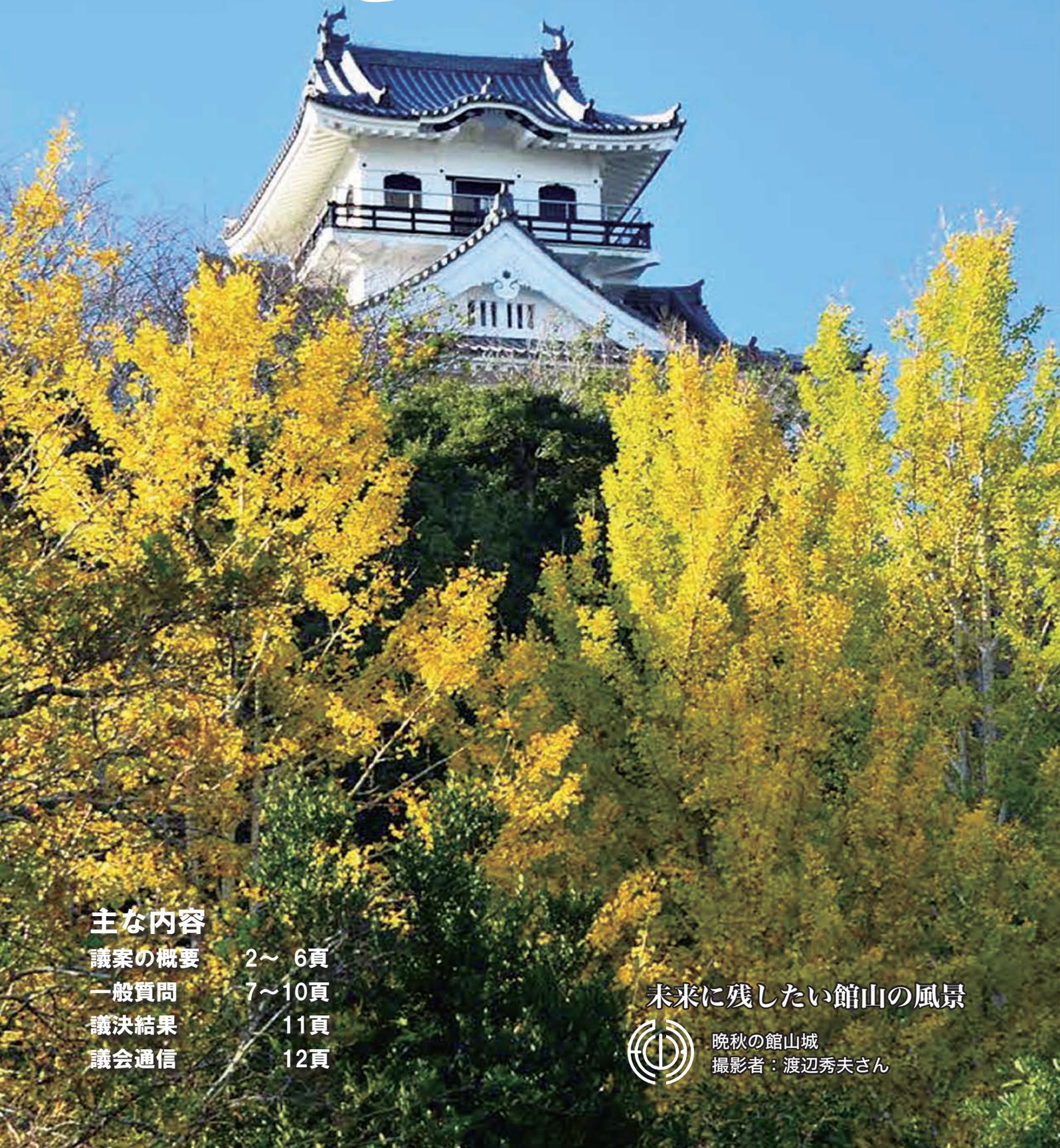


令和3年12月号

SHINGO ZENBU



たてやま議会だより



主な内容

議案の概要	2～ 6頁
一般質問	7～10頁
議決結果	11頁
議会通信	12頁

未来に残したい館山の風景



晩秋の館山城
撮影者：渡辺秀夫さん

第3回
臨時会

災害関連補正予算1件を議決

原案
可決

令和3年第3回臨時会は、8月4日に開催され、7月3日の大雨による歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億4千510万円を追加する補正予算を原案通り全会一致で可決しました。主な議案の内容は次のとおりです。

◇議案第44号 令和3年度館山市一般会計補正予算（第7号）

7月3日の大雨により被災した農業用ため池、農道及び農業用水路について、災害復旧工事を実施する農業施設災害復旧事業で1千650万円の増、大雨により被災した河川、水路及び道路について、災害復旧工事等を実施する土木施設災害復旧事業で1億2千860万円を増額しようとするものです。

また、歳入として、国庫支出金、繰入金及び市債を増額しようとするものです。



9月
定例会

令和2年度決算を認定 コロナ対策と復興事業で歳入・歳出とも過去最大に

令和3年9月定例会は9月1日に招集され、9月29日までの29日間の会

期で開催し、市長提案による条例議案3件、一般議案6件、補正予算3件、認定議案5件、議員提出による発議案2件を審議しました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、常任委員会、決算審査特別委員会への付託は行わず、本会議での審議のみとし、慎重審議の結果、すべての議案を、原案通り全会一致で、可決、同意、認定しました。主な議案の内容は、次のとおりです。

◇一般会計決算の概要

一般会計は、歳入総額32億6千71万9千916円（前年度比35・6%増）、歳出総額31億0千79万6千161円（同45・1%増）となり、歳入歳出差引額は15億9千230万円で、翌年度への繰越財源2億9千224万8千円を差し引いた実質収支額は13億5万2千円（同12・6%増）となりました。

決算規模が大幅に増加した理由は、令和元年度から令和2年度までの復興費用（令和元年度からの繰越分）によるものと、新型コロナウイルス感染症対策に伴うものです。

令和2年度一般会計・特別会計決算 (千円)

区分	歳入総額	歳出総額
一般会計	32,671,916	31,079,616
特別会計	国民健康保険	5,948,565
	後期高齢者医療	775,802
	介護保険	6,067,718
特別会計合計	13,315,351	12,792,085

令和2年度下水道事業会計決算 (千円)

区分	収入	支出
収益的収支	640,603	501,219
資本的収支	238,386	475,289

決算
認定

【歳入IIグラフ1】

主な歳入は、国庫支出金84億6千618万5千円(同240・0%増)、市税(同240・0%増)、市税58億4千62万円(同0・7%増)、地方交付税43億2千593万9千円(同2・9%減)、市債31億4千640万円(同139・7%増)等となっています。

前年度比では、国庫支出金、市債、繰入金及び繰越金で増額となっており、主な要因として、国庫支出金では、特別定額給付金を含む新型コロナウイルス対策によるものであり、市債及び繰越金では、令和元年台風災害等に関する費用のほか、新学校給食センターの整備による増額、繰入金では、前澤友作館山応援基金を設置するため、観光振興基金から一般会計に繰り入れたものです。

なお、基幹収入である市税(現年課税分)のうち、市民税では、個人市民税における給与所得者の所得減少などにより、1千977万5千円の減、固定資産税では、新築家屋の増加や設備投資による償却資産の増

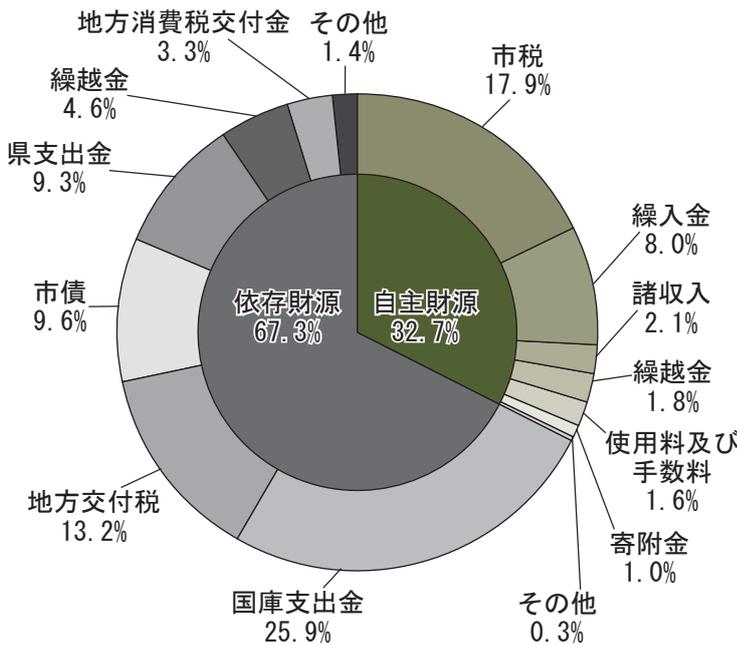
などにより、4千239万7千円の増となりました。

【歳出IIグラフ2】

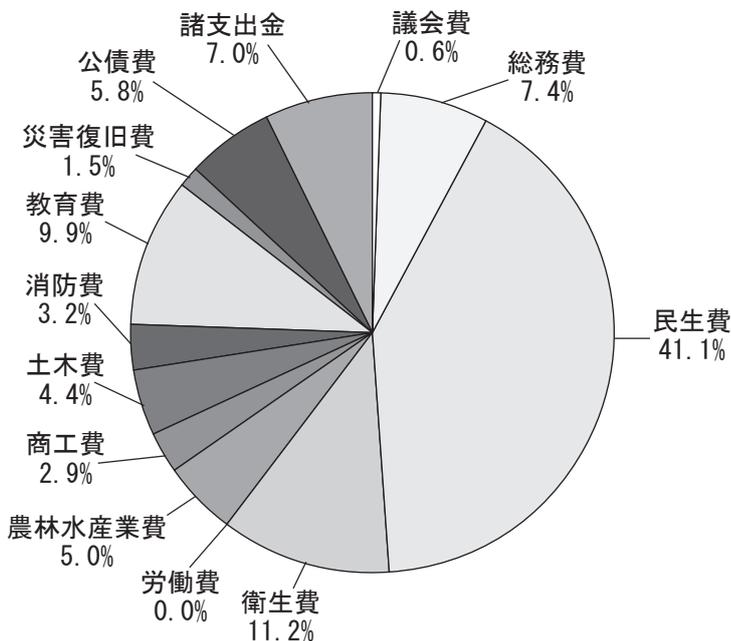
歳出では、民生費127億5千849万1千円(同70・8%増)、衛生費34億7千636万6千円(同41・2%増)、教育費30億8千446万2千円(同87・0%増)等となっています。

主な要因として、民生費では、特別定額給付金を含む新型コロナウイルス感染症対応関係の給付金のほか、令和元年台風等による被災住家支援など、衛生費では、災害ごみ処理費などによるもの、教育費では、新学校給食センターの施設整備のほか、GIGAスクール整備事業によるものです。性質別では、補助費、投

【グラフ1】一般会計歳入(財源・款別構成割合)



【グラフ2】一般会計歳出(款別構成割合)



資的経費、物件費及び人件費等で増額となっており、主な要因として、補助費では、特別定額給付金等、投資的経費では、新学校給食センターの施設整備事業や被災住家及び農業者支援費、災害復旧費などによるものであり、物件費では、災害ごみ処理費など、人件費では、会計年度任用職員制度の施行に伴い、賃金(物件

費)が報酬(人件費)となり、加えて期末手当の支給が開始されたことなどによるものです。なお、公共下水道事業は、令和2年度から地方公営企業法の財務規定を適用し、これまでの特別会計から地方公営企業会計に移行しました。

一般議案
補正議案質疑

各常任委員会の審査はありませんでしたので、主な議案の内容と本会議での質疑応答を掲載します。

◇議案第48号 指定管理者の指定について 館山市ジビエ加工処理施設の指定管理者について、公募型プロポーザルにより候補者として選定した合同会社アルコを指定管理者として指定するに当たり、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めらるるものです。



質疑(室厚美議員)

問 指定管理者の事業計画について収益と費用をどのように設定しているのか伺

います。
答 収益としては指定管理者がイノシシ等を買取って加工処理を行い、飲食店等に販売する収益事業による売上、捕獲者が施設において自ら加工処理を行う公的事業に係る利用料金などが主なものになります。また費用としては人件費や光熱水費、修繕費など施設の維持管理運営に要する費用です。

衛生費/清掃センター長寿命化対策事業(2千728万円) 清掃センター基幹的設備改良工事について、監理実績のあるコンサルタント業者から技術的支援を受け、適切な工事の実施を図るためのものです。

質疑(石井敏宏議員)

問 肉の買い取りについて伺います。

答 買取り価格や手順の詳細については、指定管理者の指定に関する議決を得た後に、指定管理者協定を締結し、収支計画なども含めた指定管理者からの年度業務計画に基づき決定します。

議案第49号 令和3年度館山市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億5千873万3千円を追加し、総額223億100万6千円としようとするものです。

歳出の主な内容は次のとおりです。

衛生費/清掃センター長寿命化対策事業(2千728万円) 清掃センター基幹的設備改良工事について、監理実績のあるコンサルタント業者から技術的支援を受け、適切な工事の実施を図るためのものです。



市内出野尾にある清掃センター

質疑(榎本祐三議員)

問 施設の改良工事は約30億円の事業になります。業者の選定はどのように考えていますか。また、完成までの計画はどのようになりますか。

答 より透明性を確保するため制限付き一般競争入札としました。完了までの計

画は、令和3年度に実施設計や機器等の製造製作を行い、令和4年度、5年度に焼却炉の工事を行い、令和6年3月の完了を予定しています。

教育費/学習机付属備品購入費(220万円) 一人1台のタブレット端末の使用や、近年の教科書サイズのA4版化に伴い、学機の使用面積が増加しているため、机の天板を拡張する付属備品を購入するものです。

質疑(鈴木ひとみ議員)

問 7月に始めたクラウドファンディングでは、新しい机や椅子の購入費用に充てるために寄附を募りました。今回は天板を拡張する付属部品となっていますが、新しい机や椅子の購入はやめたのでしょうか。

答 クラウドファンディングの取組については、様々な知恵を絞って財源を確保し事業を推進していくべきと考え実行しているものですが、今回の補正は寄附目

標額が集まらなかった場合においても児童生徒の学習環境を速やかに向上させるため、付属備品の購入を行うためのものです。

決算質疑

決算審査特別委員会の審査はありませんでしたので、本会議での主な質疑応答を掲載します。

(一般会計)

認定第1号 令和2年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について

質疑(室厚美議員)

問 地域おこし協力隊事業について、退任した隊員はその後何をしていますか。

答 令和元年度に退任した隊員は市内で地域活性化イベント会社を起業し、令和2年度に退任した2名は2名とも市内に定住し、有害鳥獣対策や映像制作事業などを行っています。

問 リノベーションまちづくり推進事業について、実行委員会のあり方に問題はありませんか。

(5)

答 実行委員会を中心として事業を展開した結果、4つの飲食店が開業し、3つの法人が設立されました。今後もこれまで以上に進展していくものと考えています。

質疑（佐野聖一議員）

問 財政調整基金の今後の見通しはどうか。

答 令和2年度の残高は約16億7千万円となり、推計値と比較し5億7千万円の増加となりました。今年度も長期財政推計を作成する予定であり、令和8年度末時点でも財政調整基金残高がなくなることはないと考えています。

問 特別支援教育学習支援員の大幅な増員について伺います。

答 新型コロナウイルスの影響により、学校の長期休業期間の短縮への対応や、児童生徒へより丁寧な支援が必要となったことによるものです。

質疑（長谷川秀徳議員）

問 子ども医療費給付金について、子供の人数の減少

により給付額が平成29年度から毎年数百万円ずつ減少してきましたが、令和元年度と比較して令和2年度は約2千262万円と大幅に減少した要因は何ですか。

答 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が取られた結果、インフルエンザなどの感染症を予防することができたことや、コロナ禍で受診件数が減少したことなどが考えられます。

問 ひとり親家庭等医療費

等助成事業について、令和元年と比較して決算額が1.5倍に増加している理由は何ですか。

答 ひとり親家庭等医療費等助成制度の現物給付化に伴い、医療機関での窓口負担が子ども医療費助成制度と同様になったことから、ひとり親家庭等医療費等助成事業へ移行したことが原因と考えています。

質疑（鈴木ひとみ議員）

問 県知事選挙事務について、投票率を上げるためにどのような努力をされましたか。

答 市のホームページへの

掲載や出前講座、市内高校等の3年生に選挙副読本や議会だよりの配付などを行い、選挙時には、広報車による呼びかけ、安全・安心メールの配信等を行いました。



問 教育支援センター運営

事業について、市内の不登校の児童生徒のうちの登録割合及び登録者のうち常時通級者は何人ですか。

答 令和2年度の長期欠席者のうち、病気や怪我などの理由を除く不登校児童生徒は約40人で、その内登録者は8人、20%です。なお、この8人を含む教育支援センターへの登録者13人のうち3人は通級指導などにより登校意欲が好転し、登校日数が増えました。

質疑（榎本祐三議員）

問 キャッシュレス決済ポイント還元事業及びプレミ

アム商品券事業について、これらの事業でどれくらいの新規需要を作り出しましたか。

答 他の自治体ではコンビニエンスストアでの決済金額が最も多くなりますが、館山市では飲食店・喫茶店等での決済金額が多かった点が特徴で、新規顧客開拓につながったものと考えています。また、3億6千万円のプレミアム商品券も2日間で完売し、新たな消費を喚起したものと考えています。



船形館山線道路整備事業

問 船形館山線道路整備事

業について、令和2年度末時点での用地取得率は72.8%となっておりますが、今後の見通しや目途はどうですか。

答 今後も地権者に寄り添いながら用地交渉に対応してまいります。完成予定時期は示すことはできませんが、早期完成に向け事業を推進してまいります。

質疑（倉田孝浩議員）

問 広報「だん暖たてやま」の発行を月2回から1回にして、内容などの問題点や市民からの意見はありましたか。

答 1回あたりのページ数を増やし、関連記事の集約を図るなど工夫に努めるとともに、ホームページやSNS等も活用しながら必要な情報を提供できていると考えています。また、町内会役員からは「効率的で、負担軽減につながった」との声を頂いています。

問 学校再編調査検討委員会について、今後どのような再編を考えていますか。

答 今年度は「館山市学校再編基本指針」の改訂作業を行うことが第一ステップと考えており、改定後に、保護者や地域住民との協議や合意形成により決定していくこととなります。

質疑（龍崎滋議員）

問 令和2年度のふるさと納税をどのように推進しましたか。

答 魅力のある返礼品や新規返礼品の発掘、市域をまたがる地場産品の取り扱いを行うほか、定型業務のICT化と民間委託を進め、寄附者の利便性の向上と事務の効率化を図っています。

問 強い農業・担い手づくり総合支援交付金における、再建・復旧の進捗状況について伺います。

答 令和元年房総半島台風等による農業施設被害では、農業者の177人から交付金の申請があり、令和2年度に交付金を受けた農業者は106人、進捗率は59.9%となっています。



**追加
追議**

9月定例会の最終日には、一般会計補正予算に関する追加議案や人権擁護委員候補者の人事案件等について審議し原案通り可決しました。主な議案の内容と、質疑応答は次のとおりです。

議案第52号 工事請負契約の締結について

館山市清掃センター基幹的設備改良工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めようとするものです。

質疑（鈴木ひとみ議員）

問 契約相手である日立造船(株)東京本社はSDGsへの取組をうたっているが、今回の工事について、CO2削減にどんな提案がありましたか。

答 設計・施工一括発注方式を採用したため、契約締結後提案されることになりません。

質疑（石井敏宏議員）

問 工事期間の焼却ごみはどのようになりますか。

答 2炉ある焼却炉を交互に改修した場合、稼働時間を延長して対応しますが、それでも焼却しきれないごみについては、他の焼却施設への搬出を考えています。

議案第53号 令和3年度館山市一般会計補正予算（第9号）

主な内容は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加配分額が示されたことから、新型コロナウイルス感染症対策のため、歳入歳出それぞれ8千914万9千円を追加しようとするものです。

質疑（森正一議員）

問 地域観光資源事業について、今回の実証実験完了後、実際に事業を行うこととなった場合、国等からの補助はありますか。

答 アフターコロナにおける国の助成メニューは昨年度より国費100%の事業募集が続いていますので、今後必要に応じて、事業

採択を目指していきます。

質疑（龍崎滋議員）

問 中小企業等事業継続支援給付金の件数と支給対象業種を伺います。

答 申請件数は170件で、業種は卸売業、小売業、製造業、建設業、サービス業などです。

質疑（室厚美議員）

問 地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業に採択された事業のターゲットはどうか設定していますか。

答 都心に住む30歳から50歳の年齢の両親と小学校から高校生の子どもがいるファミリー層を設定しています。



発議案

◇発議案第6号 大規模盛土事業の安全確保に関する意見書について 7月3日に発生した静岡県熱海市の土砂災害について、安房地域でも豪雨や台風による土砂崩れ等が頻発している中で、市民の安心に資するため、千葉県に対し、大規模盛土事業の安全確保を要望するものです。

◇発議案第7号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について 地方自治体ではコロナ対応など財政需要に見合う財源が求められているので、国に対し令和4年度地方税制改正に向け、地方税財源の充実確保を要望するものです。

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

新型コロナウイルス感染症の医療について

安房医師会や県との連携を



石井 敏宏議員
3期目・49歳・上真倉
たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

問 いすみ市では「コロナ在宅支援センター」を設置することですが、災害と同じなので、館山市でも全庁をあげて、安房医師会や県と連携し、在宅患者のサポートを行った方が良いのではないのでしょうか。

答 新型コロナウイルス感染症の医療については、新型コロナウイルス感染症対策については、新型インフルエンザ等対策特別措置法や感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、千葉県は感染者への入院勧告、就業制限、消毒命令、感染者の発表、積極的疫学調査による濃厚接触者の特定、クラスター

対策、入院等の調整・搬送、自宅療養者への健康観察や必要物資の配達等を実施し、市町村は、千葉県や近隣市町村と緊密な連携を図り、地域住民に対する情報発信やワクチン接種等の実施をすることとなっています。

したがって、自宅療養者へのサポートについては、千葉県が主体で行っていますが、感染者の急増により保健所の業務が逼迫していることから、安房4市町では、9月から安房保健所に保健師等の職員各1名を応援派遣しています。

また、安房医師会では、在宅診療を受けやすくするため、電話診療や訪問診療が可能な医療機関の情報を保健所に提供し、さらに、安房保健所と安房医師会と安房4市町で連携して、自宅療養者への対応を実施していくため、協議を進めているところ

です。

今後の動向によっては、これまで以上の支援についても可能になるものと考えており、まずは館山市として、自宅療養者等の健康相談や生

活相談について、健康課が総合相談窓口として相談を受け、関係課や関係機関との連絡や調整の上、支援をしていきたいと考えています。

帯状疱疹予防接種 ワクチン接種の推進を



瀬能 孝夫議員
3期目・64歳・佐野
公明党
建設経済委員会委員長

問 予防ワクチンの周知と接種費用の助成について伺います。

答 帯状疱疹の予防接種については市のホームページで周知していますが、予防効果についても広報や保健師の地区活動等で周知していきま

す。接種費用の助成については、国の動向や近隣市町の実施状況を注視していきます。

解説 帯状疱疹は皮膚症状が収まると通常は痛みも消えますが、神経の損傷により3か月以上も痛みが続き、疱疹が現れる部位によって、顔面神経麻痺、視力低下や失明、めまい、難聴などの重

い合併症を引き起こす場合があります。50歳以上の3人に1人が罹る発症者数の多さに加え、皮膚科以外の眼科や耳鼻科にも関係し、後遺症も約2割の方が残ることなどを考え併せると、接種費用の一部を自治体が負担しても、予防のためのワクチン接種の推進と、医療費抑制にも効果があるものと考え、費用対効果の検証も要望しました。

性の多様性

問 男女の制服選択の自由とブレザー型制服の導入について伺います。

答 館山中学校では、1年生からブレザー型制服とし、女子はスカートとスラックスを選択可能となっています。それ以外の学年や中学校では、当事者や保護者の意向

を踏まえた個別の対応を行うこととしています。

解説 LGBT生徒が希望する制服等の相談には個別に対応するとしています。しかし、秘匿性を尊重することが、当該生徒の有益に繋がるかは検討すべきです。現在、先進企業では多様な人材の社会参加が生産性を向上させるとの認識を持っており、LGBT等にもオープンな対応にシフトしています。互いの違いを認め、多様性と調和へ向けた教育環境を創出するためには、保護者等からの申告制を改め、学校側から能動的に、校則等で自由である旨を公表する選択肢も検討すべきと考えます。



子育て支援について

幼稚園・こども園の3歳児枠の創設を



鈴木 ひとみ議員
1期目・62歳・佐野
新政クラブ
総務委員会委員

問 3歳児の幼児教育についての市の考えを伺います。

答 幼稚園等での3歳児教育は「発達の特性に応じた教育であることや、小さなうちから集団生活の中で多くのことが学べる」という点ではメリットがあり、意義のあることだと考えています。が、「小さいうちは親元で子育てをしたい」という意見もあり、家庭保育の支援も重要であると認識しています。

3歳児教育のニーズや私立幼稚園の受け皿が確保されていること、無償化により保護者の経済的負担が軽減されていることから、既存の私立幼稚園を利用いただくことで対応していきます。

解説 3歳児の就園率は全国的には90%近いのに対して、館山市では75・4%に留まっています。国は3歳児以上の幼児教育の環境整備を

以前から推進しており、令和元年10月には無償化も始めました。保育園の入園対象とならない3歳児を受け入れる幼稚園は館山市内に私立幼稚園1園だけであり、国の幼児教育無償化の恩恵を得ることのできない3歳児が多く存在する要因となっています。市内幼稚園の3歳児枠、こども園の3歳児短時間枠の創設を急ぎ、希望すれば集団保育を受けられる環境を作るべきです。

子育て世代の定住を促すには、子育て環境の整備が不可欠です。3歳児の幼児教育が全国的に当たり前のこととなっている昨今、4、5歳児のみという公立幼稚園の在り方、考え方を早急に見直すべきであると考えます。

新型コロナウイルス

問 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への支援と宿泊療養施設設置について伺います。

答 自宅療養者等の健康相談や生活相談を健康課が総合相談窓口として受け、関

係課や関係機関との連携や調整のうえ支援をしたいと考えています。安房地域内の宿泊療養施設の確保については以前から千葉県へ要望しています。

が必要で、今後は健康課が相談に応じることで、自宅療養者の不安は軽減されると考えます。また、宿泊療養施設を安房地域でも整備することが家庭内感染を防ぐことに繋がります。

新型コロナウイルス感染症対策について

第6波への備えを



森 正一議員
3期目・54歳・八幡
たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

問 ひとり親世帯の保護者が感染した場合の支援について伺います。

答 ひとり親世帯の保護者が感染により入院や施設療養となり、市に相談が寄せられた場合には、不安や要望などについて相談を受けていきます。また、養育できる方がいない場合や子ども自身も濃厚接触者と判定され、近親者等による養育が難しい場合には、君津児童相談所と連携し、子どもの預け先について相談していきます。



問 12歳以上の子ども、妊婦とその配偶者やパートナーへのワクチンの優先接種について伺います。

答 12歳以上の子どもへの優先接種は現在実施していませんが、既に接種券を発送しており、各家庭の状況に応じて接種を受けていただければと考えています。また、妊婦とその配偶者やパートナーに対しての優先接種については現在準備を進めており、9月中に1回目の接種を実施

します。
問 避難所におけるコロナ対策についての再検討、ホテル・旅館・民宿などの宿泊施設の避難所としての利用について伺います。

答 昨年以降、ダンボール衝立や簡易トイレなどのコロナ対策用資機材を備蓄するとともに、避難所運営に当たる地区本部員による初動訓練を実施するなど、ハード面・ソフト面ともに各避難所における感染対策を十分に講じています。また、市内宿泊施設の避難所としての利用については、館山市旅館組合と「災害時における応急協力に関する覚書」を取り交わしており、多くの方々の避難が必要となる災害が発生した場合、避難者を分散し、感染拡大を防止するための施設として活用できるように協力をお願いしていきます。

解説 全国的に新規感染者は減少傾向にありますが、冬に向けて第6波の発生が危惧されており、保護者が感染した場合の子どもの受け入れ施設の整備、災害時における感染者や濃厚接触者の避難対応、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行への備えなどについても要望しました。

広聴体制の充実 「まちづくりモニター制度」などの検討を



室 厚美議員

2期目・56歳・波左間
新しい風の会
建設経済委員会委員

問 市政懇談会やまちづくりモニター制度の取組状況について伺います。
答 市政懇談会は、平成29年度に中学校区4か所で開催しています。まちづくりモニター制度を含め、引き続き幅広い市民の皆様にも

くりに対して関心を持ってもらえるような機会を設けていきたいと考えています。
解説 魅力あるまちづくりを進めるためには、多くの市民に自分事として関わってもらうことが重要ですが、市民の声を市政に反映する機会について従来の方法では利用者や参加者が限られています。特に若い人たちが参加しやすい「まちづくりモニター制度」などの手法も積極的に検討するよう要望しました。

海岸環境整備

問 館山湾振興ビジョンを推進するにあたり、どのような課題に直面していますか。

答 水上オートバイの危険航行や騒音、砂浜への車両駐車、ごみの放置、ウインドサーフインの組立てやテントを張って駐車などを複数区画利用するなど、一部のマナーの悪い方による危険行為や他者の利用を妨げる事例が見受けられ、課題となっています。安全対策を含めた海岸及び海岸駐車場の適正な管理を千葉県へ更に強く要望していきます。
解説 緊急事態宣言で海水浴場が閉鎖となり、北条海岸駐車場も立ち入り禁止と

されましたが、水上オートバイなど一部の方が駐車場に入り込むルール違反がみられました。海岸駐車場の有料化することで取り締まりも強化できますが、長年、海岸管理者である県との協議が

教育現場の充実について 教職員の負担軽減を



鈴木 順子議員
8期目・71歳・下真倉
じゅん風
文教民生委員会委員長

問 教職員の多忙化は以前より課題とされてきましたが、営繕業務の体系変更、給食配膳員の廃止による仕事量の増加をどうとらえていますか。

答 コロナ禍における短縮授業や分散登校への対応等で教職員の負担が増加していることは認識しています。各学校では勤務時間管理を行い「ノー部活デー」や「ノー残業デー」の設定で負担を考慮した学校運営を行っています。さらに会計年度任用職員を配置するなど人的支援により負担軽減に努めています。

うまくいっていないように思われます。神奈川県や、国の「提案募集方式」の利用を示すとともに、県とトップ同士で話し合うよう要望しました。



ます。

解説 教職員の仕事量の多

さは一向に解消されていません。残業することに縛りをつけても解決はしないので、教職員に負担をかけ続けることをやめる方法を考える必要があります。セキュリティ面に配慮しながら校務システムを導入すること等を考える時期ではないでしょうか。特に非常時対応などの観点から自宅でも校務作業ができるよう、システム体制を整

新型コロナウイルス

問 ワクチン接種と併せてPCR検査の必要性や、国、県、市との情報共有のためのコーディネーターの配置、また自宅療養者への市としての支援について伺います。

答 安房4市町、安房保健所、安房医師会では綿密な情報共有により運営方針の決定を行っており、これからも具体的な対策等をわかりやすく情報提供していきます。PCR検査は症状のある方や濃厚接触者を優先で行っている現状であり、無症状ながら感染が心配な市民への検査は難しいと考えています。また、自宅療養者の支援は県が主体で行い、市では生活相談、健康相談の窓口を行っています。

解説 コロナ感染は災害と位置づけ、市長自らリーダーシップを発揮し保健所、県に情報の要請をして欲しいと考えます。

緊急事態宣言下の海水浴場 海浜の適正な安全管理を



倉田 孝浩議員
1期目・60歳・館山
新政クラブ
文教民生委員会委員

問 緊急事態宣言で海水浴場が閉鎖となりましたが、宣言後も大勢の海水浴客が訪れていました。海水浴客の安心安全についてどのような対策をしましたか。
答 人流を減らすため、市が管理する海岸駐車場を閉鎖するとともに、海水浴場の閉鎖を周知しました。また、海水浴場閉鎖後もライフセーバーによる海岸パトロール、海水浴場監視監による安全対策に取り組みました。

解説 千葉県や民間団体とも連携を図り、水上オートバイの危険航行やごみの散乱防止など海浜の適正な安全管理を要望しました。

ローラースケート場

問 北条中央公園のローラースケート場の有効活用をどのように考えていますか。
答 市内でもスケートボードを楽しむ方が増えているので、既存のローラースケート場の路面を改修し、スケートボードも利用できる環境づくりに取り組んでいきます。
解説 東京オリンピックの新たな種目となりより人気の高くなったスケートボードです。子供たちが外で元気に遊ぶ環境づくりは大切だと思います。



北条中央公園ローラースケート場

館山中学校

問 生徒数が倍以上となった館山中学校ですが、登下校時の交通安全対策について、これまでの取組や今後の対策について伺います。
答 学校では生徒に交通

今後の粗大ごみ処理事業 市民生活への影響は



榎本 祐三議員
5期目・75歳・笠名
たてやま21・緑風会
総務委員会委員長

問 館山市は安房郡市広域市町村圏事務組合から、粗大ごみ処理施設の無償譲渡を受けず、新たな施設を建設して館山市独自で粗大ごみ処理を行うことになりましたが、施設の建設場所はどこですか。また市民への影響はないのですか。
答 建設場所は、館山市清掃センターの敷地内です。また、館山市独自で粗大ごみ処理を行うようになって、ごみの搬出は従来と同じであり、市民に影響が出ることはありません。

新型コロナウイルス

問 情報発信が安房保健所による3市1町全体のため、館山市独自の対応が見えていません。接種率は安房の他の市町と比べてどうなのか、さらに今後の取組をどのように考えていますか。
答 市民への報道については、千葉県が行っていますので、市としてはこの情報を

基に、ホームページへの掲載SNS等による情報発信等を行っています。ワクチン接種率については、安房の他の市町と比べると若干低い状況ですが、全国平均から比べると10ポイント以上高い状況です。今後はこれまでの対応に加え、安房保健所、安房医師会、安房4市町で連携を図り、今までの対応に努めます。

解説 館山市としての情報発信が弱いため、市民からは「市は何をしているか」と言われた声も聞かれるため質したものです。ワクチンの集団接種に送迎バスを運行するなど、市として独自の対応もしており評価されるところですが、10万人当たりの感染者数が県下で2番目であった日もあり、危機感をもって市民に情報発信するよう要望しました。



令和3年第3回臨時会提出議案議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第44号	令和3年度館山市一般会計補正予算(第7号)	—	原案可決 全会一致

令和3年第3回定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第45号	館山市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第46号	館山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第47号	館山市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第48号	指定管理者の指定について	—	原案可決 全会一致
議案第49号	令和3年度館山市一般会計補正予算(第8号)	—	原案可決 全会一致
議案第50号	令和3年度館山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	—	原案可決 全会一致
議案第51号	令和2年度館山市下水道事業会計剰余金の処分について	—	原案可決 全会一致
議案第52号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 全会一致
議案第53号	令和3年度館山市一般会計補正予算(第9号)	—	原案可決 全会一致
議案第54号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
議案第55号	館山市監査委員の選任について	—	原案同意 全会一致
請願第56号	館山市教育委員会委員の任命について	—	原案同意 全会一致
認定第1号	令和2年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について	—	認定 全会一致
認定第2号	令和2年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	—	認定 全会一致
認定第3号	令和2年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	—	認定 全会一致
認定第4号	令和2年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	—	認定 全会一致
認定第5号	令和2年度館山市下水道事業会計決算の認定について	—	認定 全会一致
発議案第6号	大規模盛土事業の安全確保に関する意見書について	—	原案可決 全会一致
発議案第7号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	—	原案可決 全会一致

館山市議会に関する
ご意見等を募集中!

例年、秋に「議会報告会」を開催していましたが、新型コロナウイルス対策のため、議会報告会に代えて、市民の皆さんのご意見・ご要望を募集します。

市議会の基本理念である「開かれた議会」をより一層進めるため、市議会に関するご意見、ご要望をお聞かせください。

◆募集期限

12月3日(金)

◆必要な記載事項

提出の際「市議会への意見」と明記してください。
住所、氏名及び年代を必ず記載してください。
様式の定めはありません。自由に記載してください。

◆留意事項

電話による受付や、ご意見に対する個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。
お寄せいただいたご意見・ご要望は、整理・集約し、今後の『たてやま議会だより』や、市議会ホームページ等で、ご紹介させていただく予定です。
住所、氏名等の個人が認識される情報は、利用目的以外での使用や公表をいたしません。

◆提出方法

郵送(封書・葉書)・FAX・メール・LoGoフォーム(webアンケートフォーム)のいずれかの方法により、ご提出ください。

◆提出・問合せ先

〒294-8601 館山市北条1145-1

館山市議会事務局

電話…0470-22-3527

FAX…0470-23-3115

メール…gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



LoGo フォーム
入力ページ →

大規模盛土事業の安全確保について 千葉県に意見書を提出

令和3年7月3日に熱海市で土砂が流出し、大きな被害が発生しました。

静岡県ではこの流出は盛土が原因との見解を示しましたが、館山市でも、豪雨や台風による土砂崩れ等が近年頻発しており、大規模盛土事業への市民の不安感が高まっています。

そのため、館山市議会では9月定例会招集日の9月1日に千葉県知事に対する「大規模盛土事業の安全確保に関する意見書」を議員発議により可決し、9月6日、石井敬之議長が三沢智泉会議議員、金丸謙一館山市長と安房地域振興事務所を訪問し、杉山秀樹所長に「意見書」を提出するとともに、大規模盛土事業の安全確保を要望しました。

これに対し杉山所長は「熱海市の災害直後の7月5日と8月に緊急パトロールを実施しており、また盛土の総点検作業を行っています。今後も県と市が情報を共有し、県民の皆様の不安を払拭していきたい。」と答えました。



未来に残したい館山の風景 表紙写真を募集しています！

※応募方法※

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。詳しくは、「市議会HP」をご覧ください。



12月定例会の日程（予定）

- 開 会 日：11月30日（火） 午前10時～
- 一般質問：12月 8日（水） 午前10時～
- 12月 9日（木） 午前10時～
- （予備日）：12月10日（金） 午前10時～

YouTube 市議会を動画配信



本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。
自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。

編集後記

新型コロナウイルスの対応のため、市議会定例会が傍聴の制限をはじめとして通常どおり実施できておりませんが、可能な範囲で真摯に取り組んでおります。

館山市議会基本条例の前の最後には「市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会、市民に信頼される議会を目指して、ここに議会基本条例を制定する。」とあります。

新型コロナウイルスの対応によつて、市民の皆様と議会の距離が大きくなつては、議会基本条例の本旨からもあってはならないことと思っております。

議会報告会は昨年同様、文書による意見交換となりますが、多くの市民の皆様から市議会に対する忌憚のないご意見をいただけますことを期待しております。（榎本祐三）

【議会報編集委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 太田 浩 |
| 副委員長 | 鈴木 順子 |
| 委員 | 榎本 祐三 |
| 委員 | 瀬能 孝夫 |

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで電話またはメール（番号及びアドレスは下記参照）でご連絡ください。

